



# 東京PCB廃棄物処理事業だより (No.35)

## 東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成25年7月～9月の処理実績は下表のとおりです。  
引き続き、安全に処理が進んでいます。

区分	廃棄物の種類	7月～9月 処理台数	操業開始からの 処理累計
高濃度PCB廃棄物	トランス類	129台	2,178台
	コンデンサ類	1,758台	25,640台

\* 処理に着手した台数を処理台数としています。

\* 連結コンデンサは内部に含まれる台数でカウントしています。

\* 低濃度PCB廃棄物の処理については平成25年6月に処理が完了したので記載していません。

## 東京PCB廃棄物処理事業環境安全委員会が開催されました。

平成25年10月22日、江東区東陽町にて第28回「環境安全委員会」（委員長：中杉修身 元上智大学大学院教授）が開催されました。

議題1として、平成25年度上半期の施設稼働状況や環境モニタリングの結果、運転改善及び設備改造の状況、安全衛生管理活動等について報告しました。

議題2として、PCB廃棄物の処理促進に向けた設備改造の検討結果を報告しました。これまで実施してきた運転改善及び定期点検等での設備改造により、処理能力が大幅に向上したことで、液処理設備の処理能力（認可能力）が限界近くに達しており、処理量をさらに増やす余地は限られていることから、長期の設備停止を伴う大規模な改造の必要性はなくなったことを報告しました。

議題3として、二次廃棄物等（低濃度）の搬出の実施状況について報告しました。（次項に掲載）

委員からは、設備改善や労働災害等に関するご意見、ご助言、ご質問等がありました。

いただいた貴重なご意見・ご助言等を施設の運営・管理に反映し、引き続き安全・確実な処理を行なってまいります。



環境安全委員会の様子

## 二次廃棄物等（低濃度）の搬出について

東京事業所では、保護具、活性炭、木材、紙類など低濃度の二次廃棄物等についても、高濃度PCBと同様に化学処理する予定でしたが、化学処理への負担が大きいことから、高濃度PCBを優先処理するため一部を施設内に保管していました。昨年、告示改正により低濃度PCB廃棄物については、無害化処理認定施設での焼却処理が可能となったことから、外部に搬出・焼却処理を委託することとし、8月9日に最初の二次廃棄物等の搬出を行いました。

搬出にあたり、地元自治体と締結している(安全性と環境保全の確保に関する)協定書を補足する位置づけで、事業実施に向けた当社の姿勢を示す「誓約書」を、地元自治体である東京都と江東区に提出しました。



## PCB収集運搬業者安全協議会総会が開催されました。

平成25年8月26日に当事業所が入門許可を出しているPCB収集運搬業者で構成される「PCB収集運搬業者安全協議会」(会長：日本通運株式会社)の第6回総会が開催されました。当日はPCB収集運搬業者25社、30名の方々に参加されました。

会議結果の概要を以下に示します。①入退会会員の報告として、新規2社の入会があり会員数は33社となりました。②収集運搬時事故の際の緊急連絡体制の改訂と確認を行いました。③次期会長には首都圏日立物流サービス㈱が選出されました。

協議終了後、同収集運搬業者と東京事業所との間で「東京PCB廃棄物処理施設収集運搬業者連絡会」を開催し、①東京事業所の操業状況報告、②微量PCB処理の助成について(東京都環境公社から)、③入門許可条件違反およびインナートレイの使用他について、④環境ISOの取り組みについて、⑤収集運搬予定連絡方法の改定についてなどの報告があり、必要な情報共有を図りました。

特に、8月に起きた運搬中の交通事故(車両が一部損傷、容器や中のPCB廃棄物の損傷はなかった)について周知し再発防止のための注意喚起を行いました。

最後に、無事故で安全なPCB廃棄物の収集運搬を再確認し閉会しました。



東京PCB廃棄物収集運搬業者連絡会の様子

## 救命講習会の実施



救命講習会の様子(胸骨圧迫)

10月9日に臨港消防署署員を講師として救命講習会を開催しました。

救急車が到着するまでの6~7分間の救命処置が傷病者の生命を左右することから、心肺蘇生の胸骨圧迫・人工呼吸およびAEDによる除細動の重要性を再認識し、人形を使っての実地訓練を行いました。

また、気道異物除去法や応急手当についての講義も受けました。

緊急事態に遭遇した場合を想定して、適切な応急手当ができる知識と技術を習得できた、有意義な講習会でした。

## 環境報告書2013を発行しました。

平成24年4月1日~平成25年3月31日の当社の事業活動に係わる環境配慮の取組みをまとめた『環境報告書2013』を9月に発行しました。

この報告書は「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」に準拠し当社の環境と安全に対する取組みを積極的に開示するために毎年作成しているもので、今回で8回目となります。また、環境保全に加えてPCB廃棄物の処理実績、労働安全衛生、保安防災、従業員教育、地域とのコミュニケーション、ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会等の取組みについても記載しています。発行に当たっては第三者審査を実施し、開示情報の信頼性を高めています。

「環境報告書2013」は当社のHPに掲載しておりますのでご覧ください。

## 上半期の見学状況

上半期の見学状況については、保管事業者、官公庁、学校、海外等48団体、合計529人の方々にお越しいただきました。

見学を希望される場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

	4月~6月	7月~9月	上半期計
団体数	22件	26件	48件
見学者数	253名	276名	529名



〒135-0064 江東区青海三丁目地先(中央防波堤内側埋立地内)

TEL 03-3599-6023

<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>